

3. 研究評価

3.1. 気象研究所評議委員会

役割

気象研究所評議委員会は、気象研究所長に対し「気象研究所の長期研究計画の策定に関する助言」及び「気象研究所が実施する研究課題の評価に関する報告」を行うため、平成7年12月に設置された委員会であり、気象業務に関する研究について広く、かつ高い見識を有する研究所外の外部有識者により構成されている。

また、特別研究費ならびに気候変動予測研究費による研究課題（特別研究）の外部評価を実施するため、評価対象となる研究の分野にあわせ、評議委員の中から「気象研究所評価委員会」の委員を選出して外部評価を実施している。

平成20年度気象研究所評議委員名簿（所属、役職等は平成20年4月1日現在。五十音順、敬称略）

委員長	田中正之	東北大学 名誉教授
委員	蒲生俊敬	東京大学海洋研究所 教授
	小泉尚嗣	(独)産業技術総合研究所 地質情報研究部門 地震地下水研究グループ長
	小室広佐子	東京国際大学 国際関係学部 准教授
	佐藤 薫	東京大学大学院理学系研究科 教授
	田中 佐	山口大学大学院理工学研究科 教授
	泊 次郎	元 朝日新聞社 編集委員
	中島映至	東京大学 気候システム研究センター長
	古川信雄	(独)建築研究所 国際地震工学センター長
	松山優治	東京海洋大学 海洋科学部長
	安成哲三	名古屋大学 地球水循環研究センター 教授
	渡辺秀文	東京大学 地震研究所 教授
	岩崎俊樹	東北大学大学院理学研究科 教授 (平成20年11月～)
	木村富士男	筑波大学大学院生命環境科学研究科 教授 (平成20年11月～)
	藤吉康志	北海道大学低温科学研究所 教授 (平成20年11月～)

平成20年度の開催状況

平成20年度は、次のとおり第28回～第29回の評議委員会を開催した。このうち、第28回は東京で開催し、第29回については書面開催とした。

- ・第28回評議委員会 平成20年9月29日
- ・第29回評議委員会 平成21年3月25日（書面）

第28回評議委員会

日時：平成20年9月29日（月）13:30～15:30

場所：気象庁5階 大会議室

出席者

（評議委員）

田中正之 委員長、蒲生俊敬 委員、小室広佐子 委員、佐藤 薫 委員
田中 佐 委員、泊 次郎 委員、古川信雄 委員、松山優治 委員、
安成哲三 委員、渡辺秀文 委員

（気象研究所）

気象研究所長、企画室長、研究評価官、総務部長、各研究部長（7名）、他関係官

議事次第

- (1) 気象研究所長挨拶
- (2) 気象研究所評議委員会 委員長挨拶
- (3) 議題 1：独立行政法人気象研究所における研究の実施について（説明）
- (4) 議題 2：独立行政法人の気象研究所の中期目標期間の研究課題の評価について（説明）
- (5) 議題 3：重点的に実施すべき研究課題の事前評価実施について（協議）
- (6) 議題 4：評価委員会の選出について（協議）
- (7) その他

会議経過

- ・議題 1 では、平成 21 年度に予定されている独立行政法人化における気象研究所の研究の実施について、特に重点的に実施すべきと考える研究の目標設定の考え方について説明した。
- ・議題 2 では、平成 21 年度から概ね 5 年間で独立行政法人化後の中期目標の期間と想定し、重点的に実施すべきと考える研究課題について、評議委員会の下で行う評価委員会において評価を行うという、基本的な方針を説明した。
- ・議題 3 では、評価委員会で行う、研究課題の事前評価について、実施体制、評価手順、評価票の書式等について協議し、委員からご助言を受けた。
- ・議題 4 では、重点研究課題の事前評価を実施する評価委員会の委員の選出について協議を行った。3つの分科会を設けるとともに、予報分野の分科会には新たな評価委員として専門家を数人補充することを検討することとした。

第 29 回評議委員会（書面開催）

報告日：平成 21 年 3 月 25 日

評議委員：田中正之 委員長、蒲生俊敬 委員、小泉尚嗣 委員、小室広佐子 委員、
佐藤 薫 委員、田中 佐 委員、泊 次郎 委員、中島映至 委員、
古川信雄 委員、松山優治 委員、安成哲三 委員、渡辺秀文 委員
岩崎俊樹 委員、木村富士男 委員、藤吉康志 委員

議事次第

議題 1：重点的に実施すべき研究課題の事前評価結果について（報告）

- ・独立行政法人化を見据え、今後 5 年間で重点的に実施すべき研究課題について、気象研究所評価委員会分科会（予報分科会、地震火山分科会、地球環境・気候分科会）より事前評価の総合評価をいただいたので、評議委員会へ報告を行った。

3.2. 気象研究所評価委員会

役割

気象研究所評価委員会は、気象研究所の実施する研究課題の外部評価を行うために設置されている委員会である。評価委員会の構成員は、評価の対象となる研究課題に応じて、気象研究所評議委員から選出される。

開催状況

平成20年度は、第28回評議委員会で、外部評価の対象とした研究課題の事前評価について、評議委員会の審議を踏まえ、評価委員会の予報分科会、地震火山分科会、地球環境・気候分科会を各1回開催し、計22課題を評価した。各分科会の開催については下記の通り。

評価委員会（予報分科会）

日時：平成21年1月26日（月） 13:30～16:30

場所：気象庁5階 大会議室

出席者：

（評価委員）

田中正之 委員長、岩崎俊樹 委員、小室広佐子 委員、佐藤 薫 委員、藤吉康志 委員

（気象研究所）

気象研究所長、企画室長、研究評価官、予報研究部長、物理気象研究部長、気象衛星・観測システム研究部長、他関係官

議事次第

- (1) 気象研究所長挨拶
- (2) 評価委員長挨拶
- (3) 事前評価資料の説明・質疑応答
- (4) 今後の予定について
- (5) その他

事前評価

次世代非静力学気象予測モデルの開発やメソスケールデータ同化とアンサンブル予報に関する研究、衛星サウンダの数値予報モデルでの利用技術に関する研究、等の6課題について評価を行い、いずれも計画の修正は必要なく、実施すべきとの評価をいただいた。

評価委員会（地震火山分科会）

日時：平成21年1月30日（金） 13:30～16:30

場所：気象研究所 第一共用室

出席者：

（評価委員）

古川俊雄 分科会長、小泉尚嗣 委員、泊 次郎 委員、渡辺秀文 委員

（気象研究所）

気象研究所長、企画室長、研究評価官、地震火山研究部長、他関係官

議事次第

- (1) 気象研究所長挨拶

- (2) 分科会長挨拶
- (3) 事前評価資料の説明・質疑応答
- (4) 今後の予定について
- (5) その他

事前評価

緊急地震速報高度化のための震度等の予測の信頼性向上技術の開発については、社会的要請及び緊急性が高いので研究期間の短縮を行い、実施すべきとの評価をいただいた。その他 5 課題は計画の修正は必要なく、実施すべきとの評価をいただいた。

評価委員会（地球環境・気候分科会）

日時：平成 21 年 2 月 3 日（火） 10:30～16:30

場所：東京管区気象台 第一会議室

出席者：

（評価委員）

田中正之 委員長、蒲生俊敬 委員、田中 佐 委員、中島映至 委員、松山優治 委員

（気象研究所）

気象研究所長、企画室長、研究評価官、予報研究部長、気候研究部長、物理気象研究部長、環境・応用気象研究部長、海洋研究部長、地球化学研究部長、他関係官

議事次第

- (1) 気象研究所長挨拶
- (2) 評価委員長挨拶
- (3) 事前評価資料の説明・質疑応答
- (4) 今後の予定について
- (5) その他

事前評価

全球大気海洋結合モデルを用いた季節予測システムの開発、海洋環境の予測技術の開発、IPCC に関わる地球温暖化予測に関する研究、等の 10 課題について評価を行い、いずれも計画の修正は必要なく、実施すべきとの評価をいただいた。